



週間情報



No.0503

発行日 令和5年1月24日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

消防本部の動き

行事

◆ ドローン隊運用開始式を実施

岩国地区消防組合消防本部（山口）

岩国地区消防組合消防本部では、令和5年1月12日（木）、いわくに消防防災センターにおいて、ドローン隊運用開始式を実施しました。

このドローン隊は、災害現場での迅速な情報収集や安全管理等を行うことを目的として、ドローン3機と無人航空機操縦技能資格を取得した隊員9名で編成するものです。

当日は、消防長から隊員9名に対して辞令交付と専用ベストの配付を行った後、ドローン隊による人命検索、赤外線カメラによる温度検知の要領などの展示訓練を管理者（岩国市長）等に披露しました。

今後も、ドローンを活用した訓練を重ね、地域住民の安心・安全のために努力してまいります。



【運用開始式の様子】



【展示訓練の様子】

◆ 神戸市消防出初式を3年ぶりに有観客で開催

神戸市消防局（兵庫）

神戸市消防局では、令和5年1月8日（日）、神戸市中央区波止場町「メリケンパーク」において、令和5年神戸市消防出初式を3年ぶりに有観客で開催しました。

当消防局は、令和3年からの2年間はコロナ禍を配慮し、リモートやライブ配信などで出初式を行ってきました。

令和5年は、【「暁」～コロナ禍からの夜明け～】を開催テーマとし、演技冒頭に書道パフォーマンスを行い、「書道家」青柳美扇氏に「新しい年の夜明け」、「コロナ禍からの夜明け」をイメージした「暁」を揮毫^{きごう}いただきました。

新たな夜明けにふさわしい力強い「暁」の文字を胸に、本年も市民の安全・安心を守ってまいります。



【出初式の様子】

訓練

◆ 停止したリフトからの救出訓練を実施

長野市消防局（長野）

長野市消防局では、令和5年1月10日（火）、戸隠スキー場において、スキー場関係者と合同で、停止したリフトからの救出訓練を実施しました。

この訓練は、スキー場関係者だけでは救出に長時間を要する場合や、救出が困難な傷病者が発生した場合の情報共有と救出救護活動の手順を確認することを目的として実施したものです。

当日は、猛烈な吹雪の中、事故に関する情報共有をはじめ、リフトから転落した方の救護やリフトに取り残された方の救出、トリアージのほか、スキー場所有の雪上車やスノーモービル、総務省消防庁貸与の小型水陸両用バギーを活用した人員や資器材の搬送など、大変有意義な訓練となりました。

今後も関係機関との連携を強化し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【雪上を走行する小型水陸両用バギーの様子】 【リフト上から救出している様子】

研 修 等

◆ 「災害現場における電気に関する安全研修」を実施

児玉郡市広域消防本部（埼玉）

児玉郡市広域消防本部では、令和5年1月12日（木）、13日（金）の2日間、「災害現場における電気に関する安全研修」を実施しました。

この研修は、電気に関する知識の向上を図り、災害現場の電気による二次災害を防止することを目的として実施したものです。

当日は、東京電力パワーグリッド株式会社熊谷支社から専門家をお招きし、電気設備、電気災害等についてご講義いただき、大変有意義な研修となりました。

今後も、さまざまな研修・訓練を実施し、事故防止の対策を進めてまいります。



【研修の様子】

◆ 国民保護法に関する勉強会を実施

那覇市消防局（沖縄）

那覇市消防局では、令和5年1月16日（月）、当消防局主幹以上及び消防団分団長以上の消防職団員を対象に、国民保護法に関する勉強会を実施しました。

この勉強会は、同年1月21日（土）に当市で実施する「国民保護訓練」を前に、消防組織として共通の認識を図ることを目的として実施したものです。

当日は、国民保護法の趣旨、那覇市国民保護計画、消防体制を再確認しました。

今後も、市民の安心・安全を守るために努めてまいります。



【勉強会の様子】

その他

◆ 救命活動功労者に対して感謝状を贈呈

栃木市消防本部（栃木）

栃木市消防本部では、令和5年1月17日（火）、消防長から救命活動功労者に対して感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和4年11月10日（木）、栃木市小野口町地内あさひヶ丘カントリークラブゴルフ場において、ゴルフのプレー中に心肺停止状態となった76歳男性に対して、ゴルフ場の支配人が胸骨圧迫及びAEDを使用した除細動を3回実施し、救急隊に引き継いだものです。

この冷静沈着な措置によって「救命の連鎖」が途切れることなくつながったことにより、ゴルフコース内にドクターヘリが着陸し早期に医療介入が行われ、男性は病院で治療後、退院し社会復帰することができました。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 119番通報カードを配布

鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）

鳥取県東部広域行政管理組合消防局では、令和5年1月10日（火）、高齢者福祉施設の立入検査において、「119番緊急通報カード」の配布を開始しました。

このカードは、施設職員の首掛け型ネームホルダーに入れて携帯できるサイズとしており、指令員が119番通報時に聴取する主な内容を記載したもので、内容を確認しながら通報することができるため、増加する高齢者福祉施設からの119番通報に対して、迅速・的確な聴取が期待できます。

また、住民向けとして、記載内容とデザインを変更したタイプのカードも作成しており、当消防局のホームページ（<https://www.east.tottori.tottori.jp/item/1928.htm#ContentPane>）に掲載しております。

<p>119番 緊急通報カード（救急車）</p> <p>① 住所・施設名 場所の正確のために近くの建物も記入します 【 】</p> <p>② 年齢・性別 年齢が分からなければ何歳代だけでも構いません 【 】</p> <p>③ 主訴 どのような症状ですか？</p> <p>④ 意識・呼吸 意識・呼吸がない場合 心臓蘇生を実施して下さい 気道のAEDを準備して下さい</p> <p>⑤ 既往・かかりつけ病院</p> <p>⑥ ADL（日常生活動作） 自立・一部介助・全介助</p>	<p>119番 緊急通報カード（火災）</p> <p>① 住所・施設名 場所の正確のために近くの建物も記入します 【 】</p> <p>② 何階のどこで</p> <p>③ 何が燃えている</p> <p>④ 初期消火 成功・実施中・失敗</p> <p>⑤ 避難状況・負傷者</p> <p>⑥ 利用者・職員 利用者 名、職員 名</p>
<p>119番 緊急通報カード（火災）</p> <p>① 住所・建物名 場所の正確のために近くの建物も記入します 【 】</p> <p>② どこで何が燃えている</p> <p>③ 世帯人数・けが人</p> <p>④ 初期消火 成功・実施中・失敗</p>	<p>119番 緊急通報カード（救急車）</p> <p>① 住所・建物名 場所の正確のために近くの建物も記入します 【 】</p> <p>② 年齢・性別 年齢が分からなければ何歳代だけでも構いません 【 】</p> <p>③ どうしましたか？ 意識あり・なし</p> <p>④ 既往・かかりつけ病院</p>

【119番緊急通報カード】



【配布の様子】

◆ 「ふらっと寄って！気軽に防災体験」を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁板橋消防署では、令和5年1月15日（日）、防災とボランティア週間に当たり、「ふらっと寄って！気軽に防災体験」を実施しました。

この防災体験は、昨年オープンした食料品店の関係者から「地域に密着したイベントを開催したい。」との要望を受け、災害時支援ボランティアと消防団が連携し、募集広報活動と防災訓練を実施したものです。

また、大人から子どもまで幅広く体験できるよう記念撮影等も行い、多くの住民に参加していただきました。参加者からは、「日頃、マンションの避難訓練には予定が合わなくて、参加できないが、気軽にできて良い。」との声を聞くことができました。

今後も、いざという時に災害時支援ボランティアや消防団が地域の力となることをアピールし、地域に密着した活動を行ってまいります。



【防災体験の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 林野火災に対する警戒の強化について

（消防特第3号、令和5年1月12日）

消防庁特殊災害室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

林野火災対策の推進につきまして、平素から御尽力を賜り感謝申し上げます。例年、空気が乾燥し強風の吹く春に、たき火、火入れ、放火（疑いを含む）等の人的要因を原因とした林野火災が全国各地で多発します。これから春を迎えるにあたり、出火防止及び火災拡大防止のため、林野火災に対する警戒を強化することが重要と考えます。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/7889e941cd4930db45412dc0e6d23723eea8d81b.pdf>）
に掲載されています。

【問い合わせ先】

消防庁特殊災害室 関根係長、横川事務官

電 話：03-5253-7528（直通）

E-mail: y.yokokawa@soumu.go.jp

◆ 鳥インフルエンザ発生への対応について（お知らせ）

（事務連絡、令和5年1月13日）

消防庁救急企画室から各都道府県消防防災主管部（局）あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

これまで、高病原性鳥インフルエンザの発生事例について、都度情報提供をしてきたところです。特に家きんにおいては、今シーズン、令和4年10月下旬に岡山県での発生が確認されて以来、約2か月半の間に23道県で59例の発生が確認され、既に発生件数、殺処分数ともに過去最多となっています。これまで、政府では、「鳥インフルエンザ関係閣僚会議」を二度開催しているところですが、その後も、全国各地で相次いで発生が確認されていることから、本日、別添のとおり「鳥インフルエンザ関係閣僚会議」を開催し、引き続き関係府省庁が緊密に連携して、政府一丸となって対応に取り組む方針を確認しました。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/08537af3e08748c50a503a5e3a7a956c9485180f.pdf>)

に掲載されています。

（連絡先）

消防庁救急企画室

TEL：03-5253-7529

担当：岡澤補佐、平山主査、篠原事務官、橋本事務官

◆ 住宅用火災警報器の設置状況等調査について

（消防予第22号、令和5年1月16日）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

住宅用火災警報器の全国における設置率等は、令和4年6月1日時点の調査で、設置84.0%、条例適合率67.4%となりました。

住宅用火災警報器の未設置世帯等に対して、火災予防条例に適合するように設置していただくよう、より効果的な普及啓発を行うとともに、既に住宅用火災警報器を設置していただいている世帯に対しては、定期的な作動確認や、設置から10年を経過した本体の交換を促進するなど、適切な維持管理（点検・交換）に関する取組み等を、「住宅用火災警報器設置・維持管理対策基本方針」に基づき実施することが重要です。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230116_yobou_1.pdf) に掲載されています。

〈連絡先〉

消防庁予防課 佐藤・河野・菅野

電話：03-5253-7523

メール：yobouka-y@ml.soumu.go.jp

情報提供

◆ 救急普及啓発広報車の寄贈について

一般財団法人救急振興財団

一般財団法人救急振興財団では、消防機関が行う応急手当の普及啓発活動を支援するため、一般財団法人日本宝くじ協会から助成を受け、平成3年度から救急普及啓発広報車の寄贈を行っています。

令和4年度は、鯖江・丹生消防組合消防本部（福井）、八幡市消防本部（京都）、長門市消防本部（山口）、仁淀消防組合消防本部（高知）の4消防本部に救急普及啓発広報車を寄贈しました。

救急普及啓発広報車は、消防機関が開催する救命講習会や救急フェアなどの各種イベントで幅広く活用されています。

この車両は、機動的かつ効果的な運用ができる小型の普通車（ワゴン）タイプで、車両デザインについては寄贈先に複数デザインから選択いただける仕様としています。

また、心肺蘇生訓練用人形、AEDトレーナー、119番通報訓練装置等の各種訓練資器材のほか、持ち出し可能なプロジェクターやスクリーン、マイク、スピーカー等を搭載し、屋内における講習会にも対応できるようにするとともに、大型液晶テレビは車両外部に取り付け可能で、屋外で広報活動等が行えるようオーニングを設置しています。

「命を大切に思う」、「困っている人を助けたい」といった善意に基づいて、正しい知識と技術をもって、躊躇（ためら）わずに応急手当を行うことができる社会が望まれます。そのような社会を創生していくためにも、救急普及啓発広報車を有効活用し、地域住民に対する応急手当普及啓発の推進の一助としていただくことを期待しています。



【鯖江・丹生消防組合消防本部（福井）】



【八幡市消防本部（京都）】



【長門市消防本部（山口）】



【仁淀消防組合消防本部（高知）】

◆ 令和4年度予防技術検定の結果について（お知らせ）

一般財団法人消防試験研究センター

令和4年12月4日（日）に予防技術検定を全国47都道府県（51会場）で実施し、結果の公示を行いましたのでお知らせいたします。

令和4年度の予防技術検定は全区分で8,268名が受検し、合格者が4,243名、合格率が51.3%となりました。当センターのホームページに合格者の受検番号等を掲示しておりますのでご覧ください。

受検票、結果通知書、合格証明書は来年度以降受検の際、受検資格証明書等として使用できます。再発行はできませんので大切に保管してください。

なお、令和5年度の予防技術検定の実施に関する公示は令和5年7月上旬に行う予定です。

<受検者数及び合格者数等>

	検定区分	受検申請者数	受検者数	合格者数	合格率
全 体	防火査察	4,641名	4,413名	2,235名	50.6%
	消防用設備等	2,289名	2,125名	968名	45.6%
	危険物	1,831名	1,730名	1,040名	60.1%
	合計	8,761名	8,268名	4,243名	51.3%

一般財団法人消防試験研究センターホームページ

<https://www.shoubo-shiken.or.jp/yobou/goukaku.html>



問合せ先

業務部設備課 予防技術検定担当

電 話 050-3803-9297・9298

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0416）1ページ、機関誌「ほのお」2022年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 高田

原稿データは、kikakoho@fcaj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 高田

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 石原

原稿データは、weekly@fcaj.gr.jpに送信願います。